

平成29年度第2四半期

経過の長期給付組合積立金 管理及び運用実績の状況



全国市町村職員共済組合連合会
National Federation of Mutual Aid Associations for Municipal Personnel

目次

- ・ 平成29年度 第2四半期運用実績(概要).....P 2
- ・ 平成29年度 市場環境(第2四半期).....P 3
- ・ 平成29年度 資産構成割合.....P 6
- ・ 平成29年度 運用利回り.....P 7
- ・ 平成29年度 運用収益額.....P 9
- ・ 平成29年度 資産額.....P11
- ・ 資金運用に関する専門用語の解説(50音順).....P12

平成29年度 第2四半期運用実績(概要)

運用利回り + 2. 7 6 %※修正総合収益率 (時価)
(第2四半期) + 1. 0 4 %※実現収益率 (簿価)

運用収益額 + 1, 6 1 6 億円※総合収益額 (時価)
(第2四半期) + 5 1 2 億円※実現収益額 (簿価)

運用資産残高 5兆9, 862億円
(第2四半期末)

※ 情報公開を徹底する観点から、四半期ごとに運用状況の公表を行うものです。年金積立金は長期的な運用を行うものであり、その運用状況も長期的に判断することが必要です。

総合収益額は、各期末時点での時価に基づく評価であるため、評価損益を含んでおり、市場の動向によって変動するものであることに留意が必要です。

(注1) 収益率及び収益額は、当該期間中に精算された運用手数料等を控除したものです。

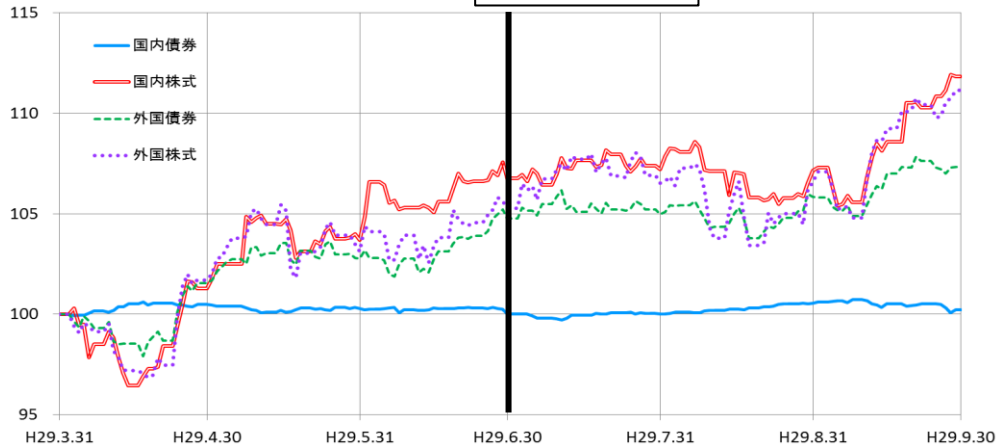
(注2) 上記数値は速報値のため、年度末の決算等において、変更になる場合があります。

(注3) 実現収益額は、売買損益及び利息・配当金収入等です。

平成29年度 市場環境 (第2四半期)①

1. ベンチマーク収益率の推移

H29.3.31 = 100



資産区分	ベンチマーク	収益率		
		第1四半期	第2四半期	年度通期
国内債券	NOMURA-BPI総合	0.02%	0.18%	0.20%
国内株式	TOPIX(配当込み)	6.76%	4.74%	11.82%
外国債券	シティ世界国債(除く日本、ヘッジなし・円ベース)	4.76%	2.46%	7.34%
外国株式	MSCI ACWI ex. JAPAN(円ベース、配当込み)	5.26%	5.60%	11.16%
合計		3.70%	3.02%	6.83%

※ 合計は資産構成割合が全て基本ポートフォリオの中心値である場合のベンチマーク収益率

2. 主な市場動向

【国内債券】

日銀の金利抑制姿勢と北朝鮮を巡る地政学リスクや米国の政治的不透明感によりリスク回避姿勢が高まったことなどから、7月、8月と10年国債利回りは低下(債券価格は上昇)し、9月初旬にはマイナス圏に入りました。その後、地政学リスクが後退したことや欧米の長期金利が上昇したことを受け、10年国債利回りは上昇(債券価格は低下)に転じましたが、ベンチマーク収益率は+0.18%となりました。

【国内株式】

8月初旬までは、好調な企業業績などにより上昇したものの、その後、北朝鮮を巡る地政学リスクの高まりや円高ドル安が進行したことを受け、軟調な展開となりました。9月中旬に地政学リスクが後退したことや円安ドル高に転じたことなどから上昇に転じた結果、ベンチマーク収益率は+4.74%となりました。

【為替】

ドル/円は、北朝鮮を巡る地政学リスクや米国の政治的不透明感の高まりを受け、前半は円高ドル安が進行しました。一方、ユーロ/円は、ECB(欧州中央銀行)による金融政策正常化開始の見方から円安ユーロ高の傾向となりました。9月に入りECB(欧州中央銀行)が量的緩和と縮小について議論を始めたことやFOMC(米連邦公開市場委員会)が保有資産の縮小を決定し、また、年内の追加利上げを示唆したことを受け、ドル、ユーロともに円安が進行しました。

【外国債券】

北朝鮮を巡る地政学リスクや米国の政治的不透明感によりリスク回避姿勢が高まったことなどから、米国、ドイツとも7月、8月と10年国債利回りは低下(債券価格は上昇)しました。9月に入りECB(欧州中央銀行)が量的緩和と縮小について議論を始めたことやFOMC(米連邦公開市場委員会)が保有資産の縮小を決定し、また、年内の追加利上げを示唆したことを受け、10年国債利回りは上昇(債券価格は低下)に転じましたが、為替が円安になったことなどもありベンチマーク収益率は+2.46%となりました。

【外国株式】

7月は、米国は好調な企業業績などを受け堅調に推移しましたが、ドイツはユーロ高を受け下落しました。8月は北朝鮮を巡る地政学リスクや米国の政治的不透明感の高まりを受け米国、ドイツとも軟調となりましたが、9月に入り地政学リスクが後退したことや好調な経済指標・企業業績、また、米国の税制改革協議への期待などを受け、米国、ドイツとも大幅に上昇しました。その結果、ベンチマーク収益率は+5.60%となりました。

平成29年度 市場環境 (第2四半期)②

(出典:bloomberg)

10年国債の利回りの推移(日、米、独)

H29.6末 0.08 → H29.9末 0.06



H29.6末 2.31 → H29.9末 2.33



H29.6末 0.47 → H29.9末 0.46



為替レートの推移(ドル・ユーロ)

H29.6末 112.4 → H29.9末 112.6



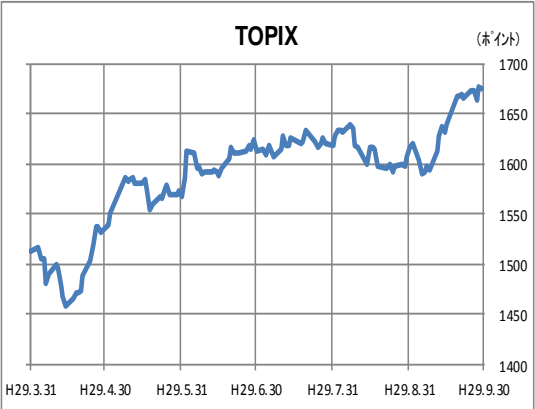
H29.6末 128.2 → H29.9末 133.1



平成29年度 市場環境 (第2四半期)③

国内株式の市場指数の推移

H29.6末 1,612 → H29.9末 1,675

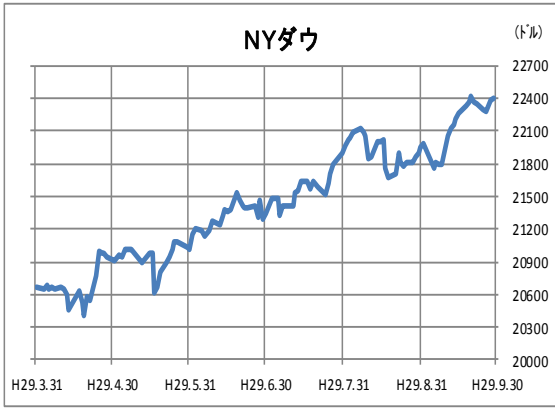


H29.6末 20,033 → H29.9末 20,356



外国株式の市場指数の推移

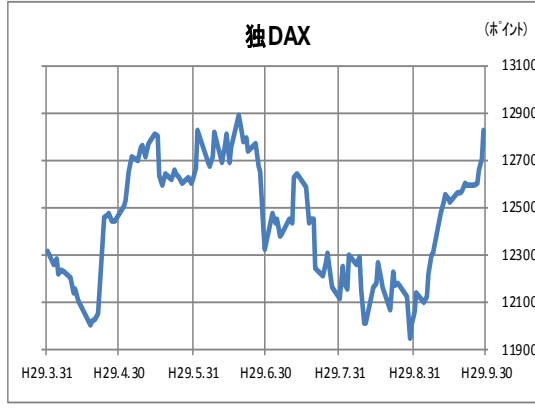
H29.6末 21,350 → H29.9末 22,405



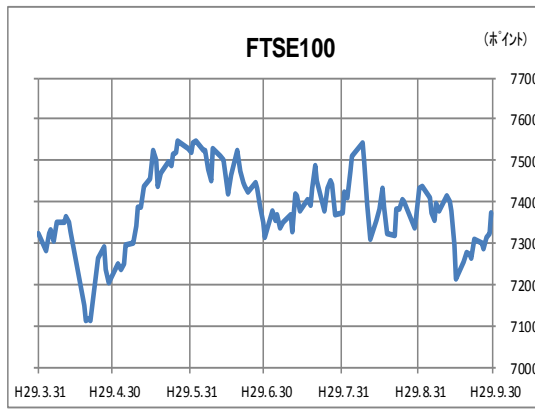
H29.6末 6,140 → H29.9末 6,496



H29.6末 12,325 → H29.9末 12,829



H29.6末 7,313 → H29.9末 7,373



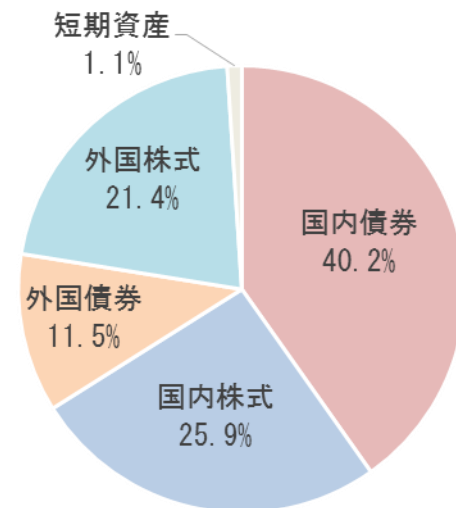
平成29年度 資産構成割合

資産ごとの構成割合は以下のとおりです。

(単位：%)

	平成28年度	平成29年度			
	年度末	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	年度末
国内債券	44.6	42.0	40.2	—	—
国内株式	23.8	25.2	25.9	—	—
外国債券	10.6	11.2	11.5	—	—
外国株式	19.8	20.7	21.4	—	—
短期資産	1.1	0.9	1.1	—	—
合計	100.0	100.0	100.0	—	—

第2四半期末 資産別の構成割合



(注1)基本ポートフォリオは、国内債券35%(±15%)、国内株式25%(±14%)、外国債券15%(±6%)、外国株式25%(±12%)です(括弧内は、許容乖離幅)。

(注2)上記数値は四捨五入のため、各数値の合算は合計値と必ずしも一致しません。

(注3)上記数値は速報値のため、年度末の決算等において、変更になる場合があります。

平成29年度 運用利回り

平成29年度第2四半期の修正総合収益率は、資産全体で+2.76%となりました。

(単位：%)

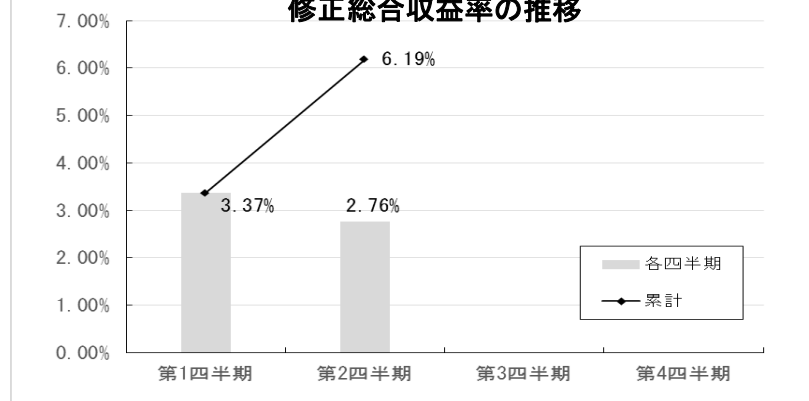
	平成29年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
修正総合収益率	3.37	2.76	—	—	6.19
国内債券	0.20	0.21	—	—	0.40
国内株式	6.80	4.97	—	—	12.00
外国債券	4.77	2.43	—	—	7.27
外国株式	5.60	5.47	—	—	11.29
短期資産	0.00	0.00	—	—	0.00

(単位：%)

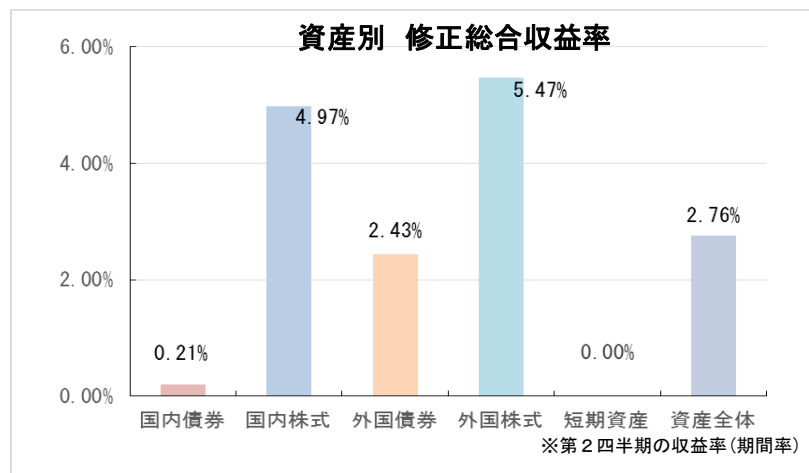
	平成29年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
実現収益率	1.19	1.04	—	—	2.23

- (注1) 各四半期の収益率は期間率です。
 (注2) 「年度計」は平成29年度第2四半期までの収益率です。
 (注3) 修正総合収益率及び実現収益率は、当該期間中に精算された運用手数料等を控除したものです。
 (注4) 上記数値は速報値のため、年度末の決算等において、変更になる場合があります。

修正総合収益率の推移



資産別 修正総合収益率



(参考)前年度 運用利回り

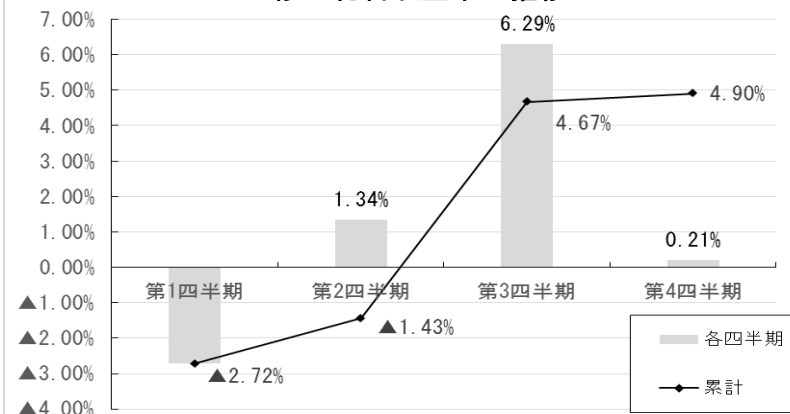
(単位：%)

	平成28年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
修正総合収益率	▲2.72	1.34	6.29	0.21	4.90
国内債券	1.91	▲1.23	▲1.07	▲0.17	▲0.52
国内株式	▲7.13	7.05	14.57	0.75	14.94
外国債券	▲8.15	▲0.57	7.68	▲3.54	▲5.19
外国株式	▲7.87	3.71	16.68	2.47	14.34
短期資産	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01

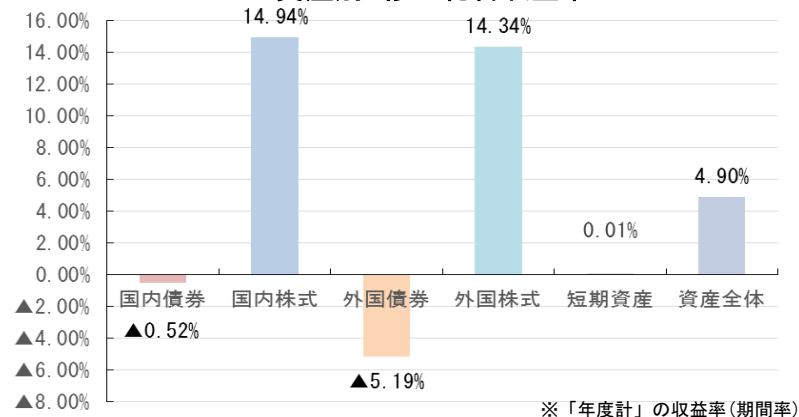
(単位：%)

	平成28年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
実現収益率	0.59	0.45	0.80	0.76	2.59

修正総合収益率の推移



資産別 修正総合収益率



(注1) 各四半期の収益率は期間率です。

(注2) 修正総合収益率及び実現収益率は、当該期間中に精算された運用手数料等を控除したものです。

平成29年度 運用収益額

平成29年度第2四半期の総合収益額は、資産全体で+1,616億円となりました。

(単位：億円)

	平成29年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
総合収益額	1,939	1,616	—	—	3,555
国内債券	50	50	—	—	101
国内株式	944	736	—	—	1,680
外国債券	297	162	—	—	459
外国株式	648	667	—	—	1,315
短期資産	0	0	—	—	0

(単位：億円)

	平成29年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
実現収益額	589	512	—	—	1,101

(注1) 「年度計」は平成29年度第2四半期までの収益額です。

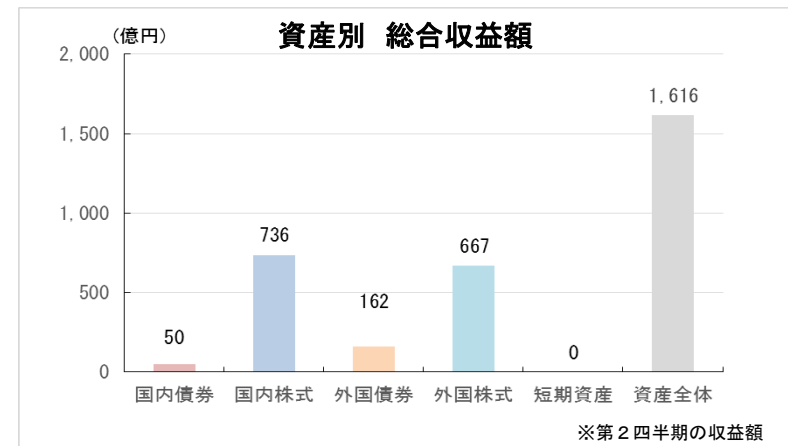
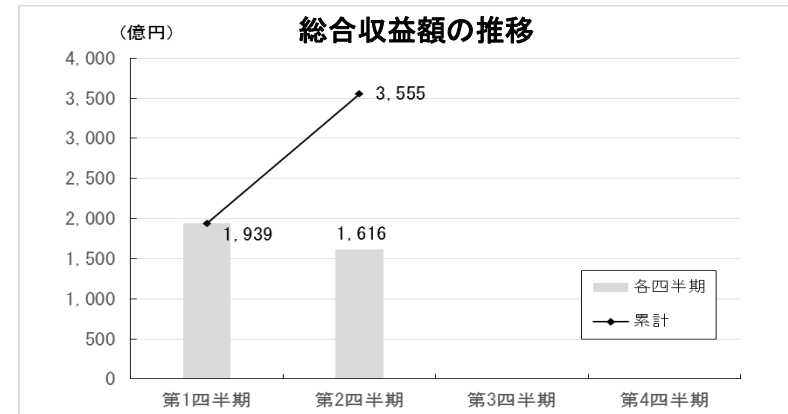
(注2) 総合収益額及び実現収益額は、当該期間中に精算された運用手数料等を控除したものです。

(注3) 総合収益額は、実現収益額に時価評価による評価損益の増減を加味したものです。

(注4) 実現収益額は、売買損益及び利息・配当金収入等です。

(注5) 上記数値は四捨五入のため、各数値の合算は合計値と必ずしも一致しません。

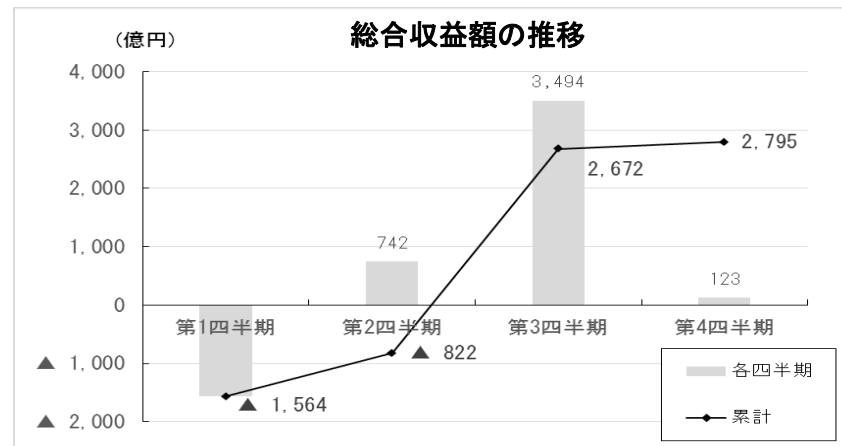
(注6) 上記数値は速報値のため、年度末の決算等において、変更になる場合があります。



(参考)前年度 運用収益額

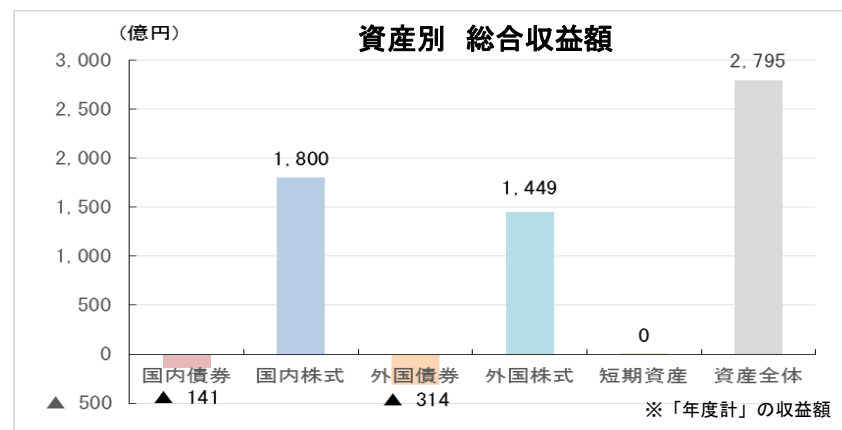
(単位：億円)

	平成28年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
総合収益額	▲1,564	742	3,494	123	2,795
国内債券	531	▲340	▲288	▲44	▲141
国内株式	▲827	772	1,752	103	1,800
外国債券	▲488	▲31	420	▲215	▲314
外国株式	▲780	342	1,609	279	1,449
短期資産	0	0	0	0	0



(単位：億円)

	平成28年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
実現収益額	299	225	400	380	1,305



(注1) 総合収益額及び実現収益額は、当該期間中に精算された運用手数料等を控除したものです。

(注2) 総合収益額は、実現収益額に時価評価による評価損益の増減を加味したものです。

(注3) 実現収益額は、売買損益及び利息・配当金収入等です。

(注4) 上記数値は四捨五入のため、各数値の合算は合計値と必ずしも一致しません。

平成29年度 資産額

資産ごとの簿価、時価及び評価損益は以下のとおりです。

(単位：億円)

	平成29年度											
	第1四半期末			第2四半期末			第3四半期末			年度末		
	簿価	時価	評価損益	簿価	時価	評価損益	簿価	時価	評価損益	簿価	時価	評価損益
国内債券	22,074	24,596	2,522	21,621	24,066	2,446	—	—	—	—	—	—
国内株式	11,523	14,745	3,222	11,657	15,481	3,824	—	—	—	—	—	—
外国債券	6,311	6,578	267	6,496	6,870	374	—	—	—	—	—	—
外国株式	8,721	12,148	3,426	8,836	12,815	3,979	—	—	—	—	—	—
短期資産	509	509	0	629	629	0	—	—	—	—	—	—
合計	49,138	58,575	9,437	49,240	59,862	10,622	—	—	—	—	—	—

(参考)前年度

(単位：億円)

	平成28年度											
	第1四半期末			第2四半期末			第3四半期末			年度末		
	簿価	時価	評価損益	簿価	時価	評価損益	簿価	時価	評価損益	簿価	時価	評価損益
国内債券	24,077	27,783	3,706	23,792	27,026	3,234	23,462	26,321	2,859	23,154	25,842	2,689
国内株式	10,420	10,744	324	10,919	11,946	1,027	11,134	13,698	2,564	11,259	13,801	2,542
外国債券	5,604	5,486	▲118	5,583	5,455	▲128	5,726	6,000	274	6,152	6,160	8
外国株式	8,190	9,101	911	8,406	9,613	1,206	8,486	11,222	2,736	8,566	11,501	2,934
短期資産	2,342	2,342	0	1,849	1,849	0	889	889	0	636	636	0
合計	50,634	55,457	4,823	50,549	55,888	5,339	49,698	58,131	8,434	49,767	57,941	8,174

(注1) 上記数値は四捨五入のため、各数値の合算は合計値と必ずしも一致しません。

(注2) 上記数値(平成29年度)は速報値のため、年度末の決算等において、変更になる場合があります。

資金運用に関する専門用語の解説 (50音順) ①

○ 基本ポートフォリオ

統計的な手法により定めた、最適と考えられる資産構成割合(時価ベース)です。

○ 許容乖離幅

資産構成比が基本ポートフォリオから乖離した場合には、資産の入替え等を行い乖離を解消することとなります。しかし、時価の変動等により小規模な乖離が生じるたびに入替えを行うことは、売買コストの面等から非効率であるため、基本ポートフォリオからの乖離を許容する範囲を定めており、これを許容乖離幅といいます。

○ 実現収益率

運用成果を測定する尺度の1つです。売買損益及び利息・配当金収入等の実現収益額を元本(簿価)平均残高で除した元本(簿価)ベースの比率です。

○ 修正総合収益率

運用成果を測定する尺度の1つです。実現収益額に資産の時価評価による評価損益増減を加味し、時価に基づく収益を把握し、それを簿価平均残高に前期末未収収益と前期末評価損益を加えたもので除した時価ベースの比率です。算出が比較的容易なことから、運用の効率性を表す時価ベースの資産価値の変化を把握する指標として用いられます。

(計算式)

修正総合収益率 = (売買損益 + 利息・配当金収入 + 未収収益増減 + 評価損益増減) / (簿価平均残高 + 前期末未収収益 + 前期末評価損益)

○ 総合収益額

実現収益額に加え資産の時価評価による評価損益を加味することにより、時価に基づく収益把握を行ったものです。

(計算式) 総合収益額 = 売買損益 + 利息・配当金収入 + 未収収益増減 + 評価損益増減

資金運用に関する専門用語の解説 (50音順) ②

○ ベンチマーク

運用成果を評価する際に、相対比較の対象となる基準指標のことをいい、市場の動きを代表する指数を使用しています。市町村連合会で採用している各資産のベンチマークは以下のとおりです。

1 国内債券 NOMURA-BPI総合【野村証券金融市場調査部が作成・発表している国内債券市場のベンチマークです。】

※NOMURA-BPI総合は、その著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村証券株式会社に帰属します。株式会社野村総合研究所及び野村証券株式会社は、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、株式会社野村総合研究所及び野村証券株式会社は、当該指数に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該指数の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

2 国内株式 TOPIX(配当込み)【東京証券取引所が作成・発表している国内株式の代表的なベンチマークです。】

※東証株価指数(TOPIX)は、株式会社東京証券取引所(株東京証券取引所)の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウ及び東証株価指数(TOPIX)の商標又は標章に関するすべての権利は(株東京証券取引所)が有しています。

3 外国債券 シティ世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)【Citigroup Index LLCが作成・発表している世界債券のベンチマークです。】

※このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、Citigroup Index LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はCitigroup Index LLCに帰属します。

4 外国株式 MSCI ACWI ex. Japan(円ベース、配当込み)【【MSCI Inc. が作成する日本を除く先進国及び新興国で構成された株式のベンチマークです。】

○ ベンチマーク収益率

ベンチマークの騰落率。いわゆる市場平均収益率のことです。